

奉行10シリーズから奉行11シリーズへの データ移行手順書

～ネットワーク版～

目次

環境構築編

STEP
1

セットアップキーを発行する

STEP
2

サーバーにプログラムをセットアップする

STEP
3

クライアントプログラムをセットアップする

STEP
4

移行するデータを用意する

データ移行編

STEP
5

システムコンバート

STEP
6

再設定をする

番外編

プログラムの削除方法

環境構築編

STEP
1

セットアップキーを発行する

STEP
2

サーバーにプログラムをセットアップする

STEP
3

クライアントプログラムをセットアップする

STEP 1. セットアップキーを発行する



① インターネットで「obcnet」と入力し「奉行Netサービス」を検索します



② 「ライセンス発行」を押します

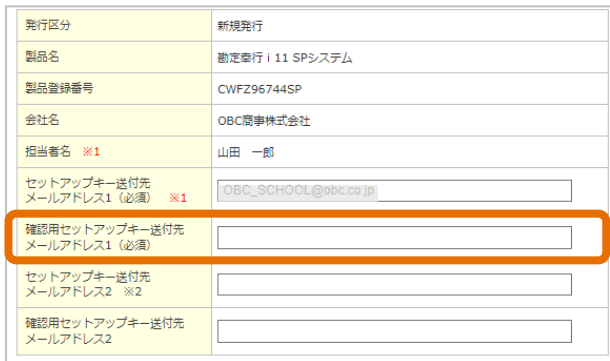


③ 「製品登録番号」と「電話番号」を入力して[登録番号の確認を行います]で進みます (※)

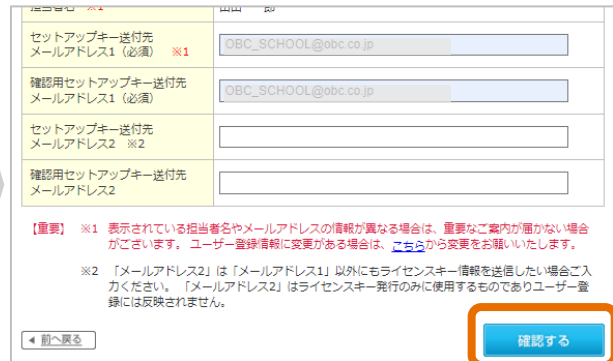
▼製品登録番号
納品物の中に書いてあります

メール 又は 納品物

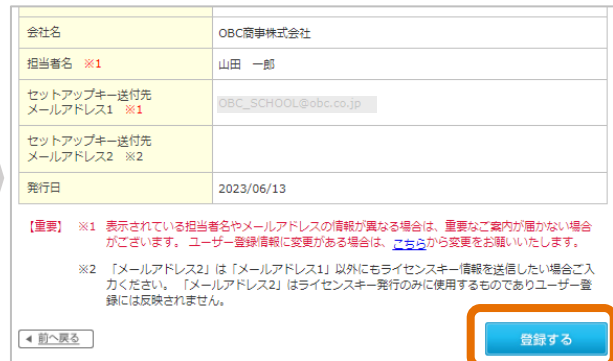
▼電話番号
貴社の電話番号を入力します。



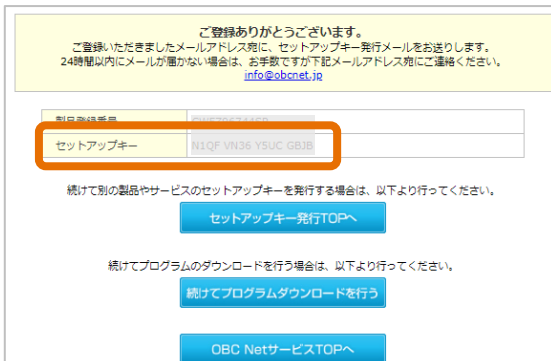
④ 確認用メールアドレスを入力します
※貼り付けはできません



⑤ [確認する]で進みます



⑥ [登録する]で進みます



⑦ セットアップキーが表示されます

(※) ③の処理後、④の画面にならない場合はユーザー登録が必要です。
[ユーザー情報 登録・変更]より製品のユーザー登録後に再度②からライセンス発行を実施しましょう。

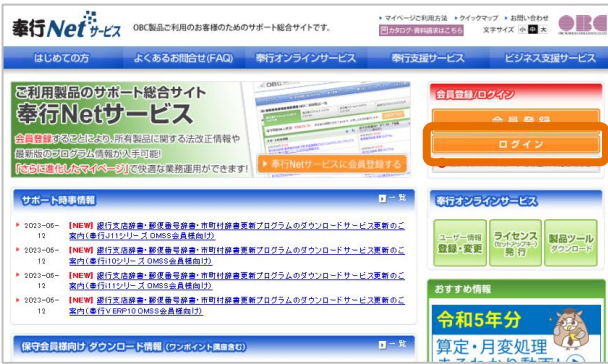
ここまで作業が完了したら



作業完了!

STEP 1. セットアップキーを発行する（電子納品の場合のみ）

以降は電子納品の場合にのみ必要な手順です。



⑧ 奉行Netサービスのメイン画面に戻り [ログイン]を押します



⑨ 奉行Netサービスにログインします

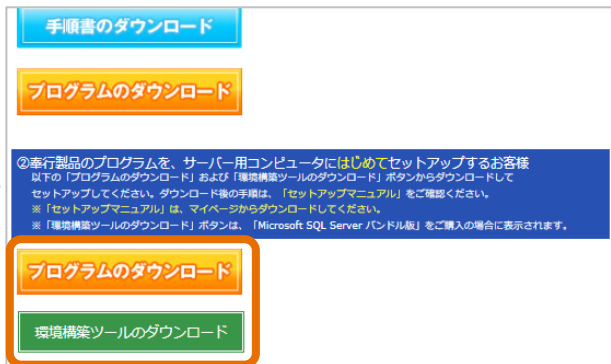
「ログインID」「パスワード」を忘れてしまった場合は以下よりお進みください。



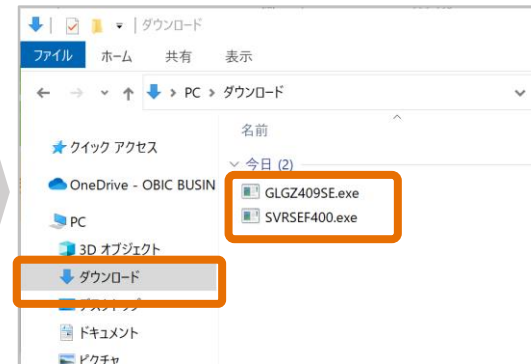
⑩ セットアップする製品のタブを開きます



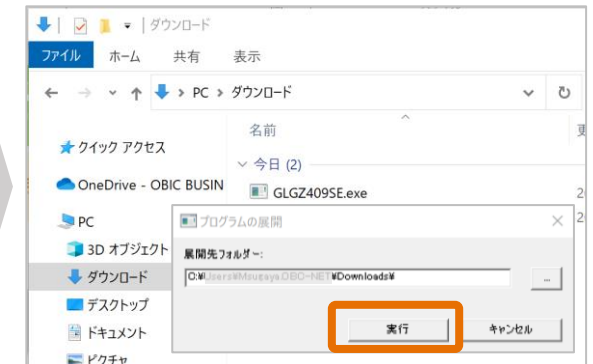
⑪ 「プログラムダウンロード一覧」の一番上にあるプログラムを選択します



⑫ 「②」の「プログラムダウンロード」「環境構築ツールのダウンロード」からプログラムをダウンロードします



⑬ ダウンロードフォルダに作成されたファイルをダブルクリックします



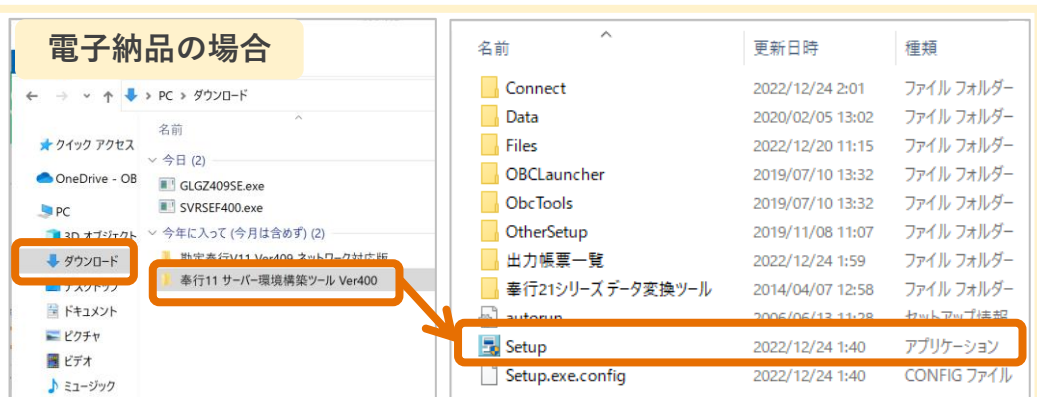
⑭ [実行]ボタンを押します

ここまで作業が完了したら

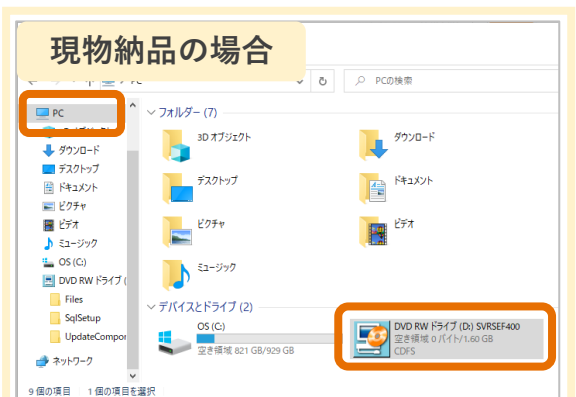


作業完了!

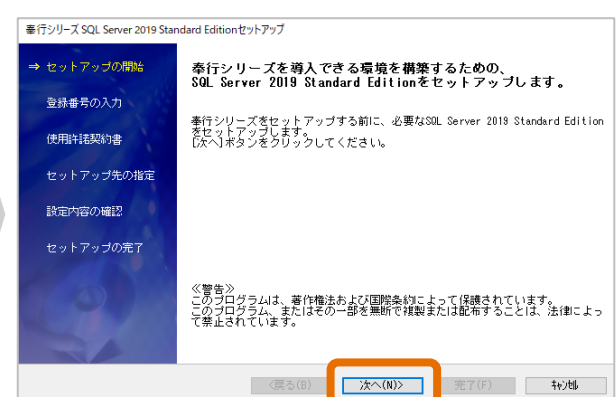
2. サーバーにSQL Serverをセットアップする



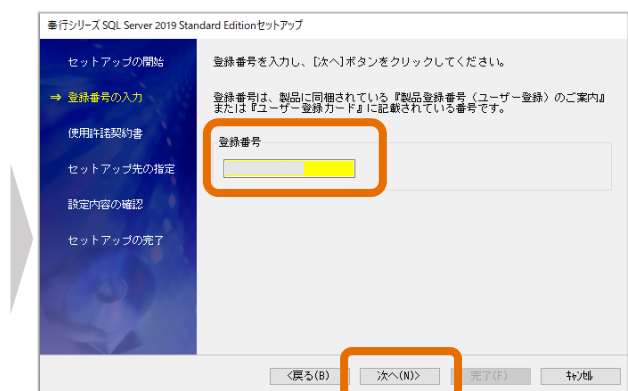
① 対象フォルダを開き、**Setup** をクリックします



① ディスクを挿入し DVD RWドライブをクリックします



② [次へ]



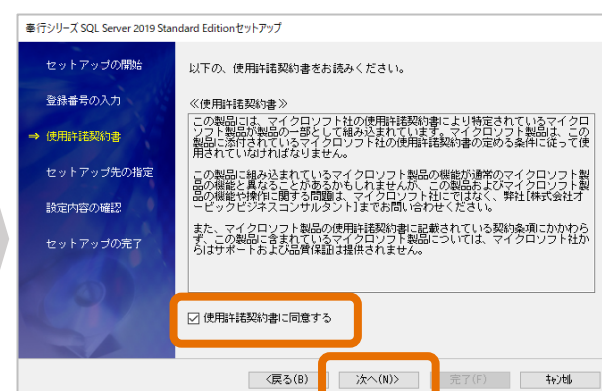
③ 製品登録番号を入力して [次へ]

製品登録番号は納品物に記載されています。

▼電子納品

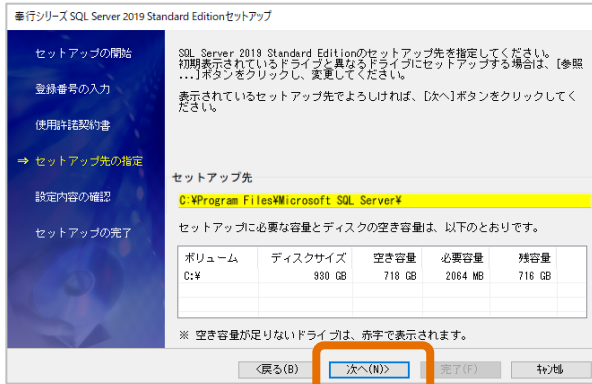
▼現物納品

メール 又は 納品物



④ 契約書に同意をして [次へ]

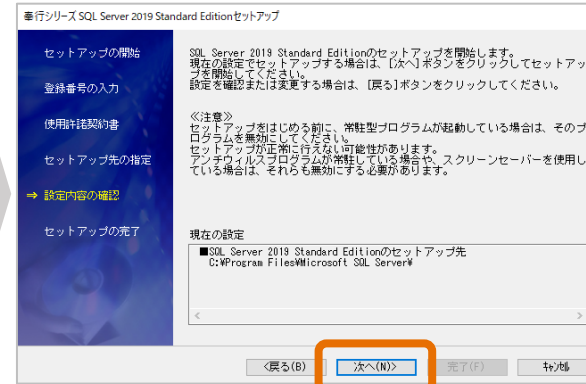
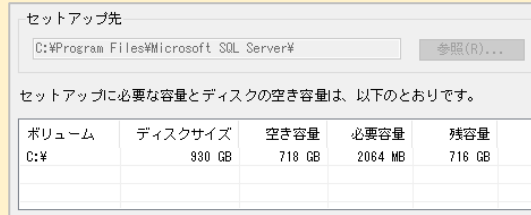
2. サーバーにSQL Serverをセットアップする



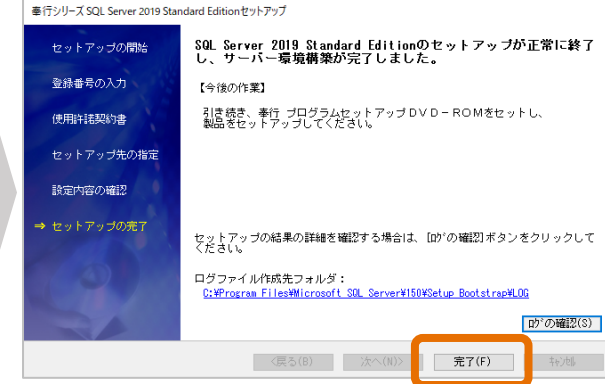
⑤ SQL Serverのセットアップ先の指定がなければ、そのまま[次へ]

セットアップをするPCの環境によっては「セットアップ先」がグレーになって選択ができない場合もあります。

▼画面イメージ



⑥ [次へ]



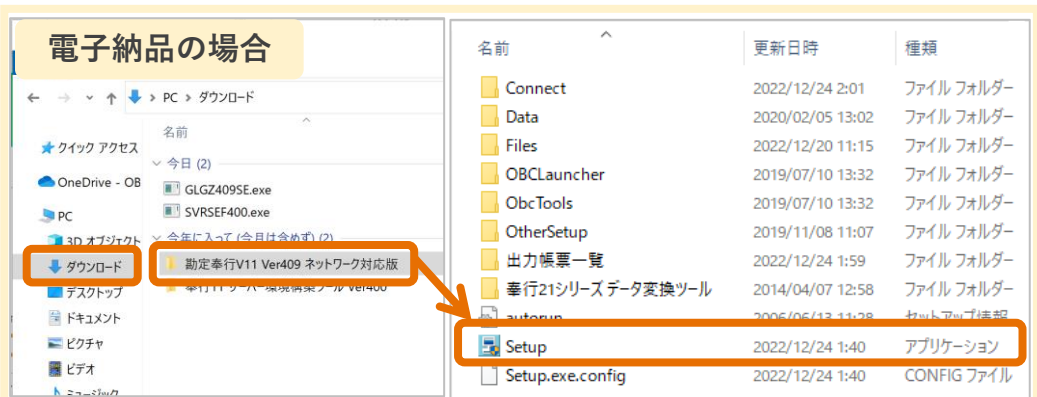
⑦ [完了]

ここまで作業が完了したら

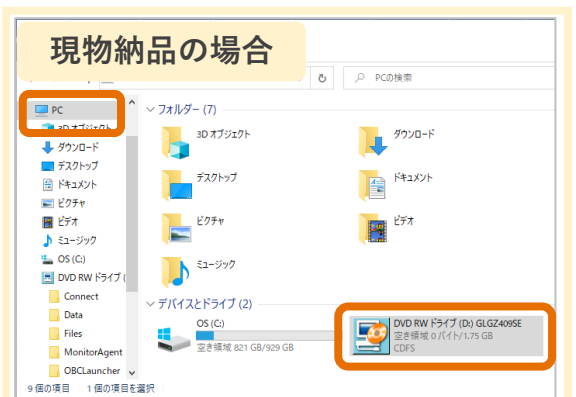


作業完了!

2. サーバーにプログラムをセットアップする



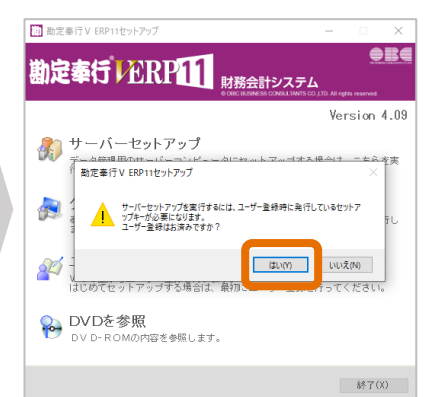
① 対象フォルダを開き、**Setup** をクリックします



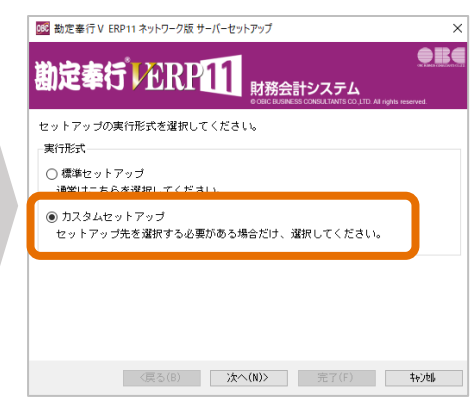
① ディスクを挿入し DVD RWドライブをクリックします



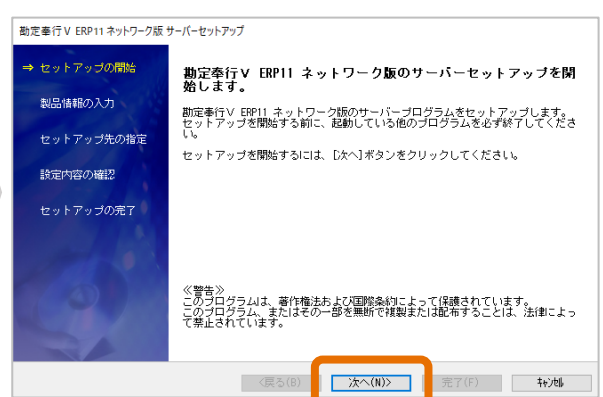
② 「サーバーセットアップ」



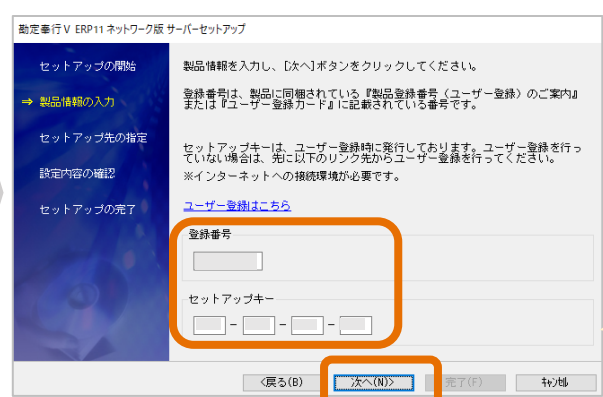
③ [はい]



④ 「カスタムセットアップ」



⑤ [次へ]



⑥ 製品登録番号とセットアップキーを入力して[次へ]

セットアップキーを忘れてしまった場合は、「件名：セットアップキー発行のご案内」のメールで確認ができます。

▼ メールイメージ

セットアップキー発行のご案内[奉行 i11 シリーズ]

OBCEユーザー管理室 <obc106@obc.co.jp> 宛先

① フラグを設定します:

OBCE 商事株式会社
山田 一郎 様

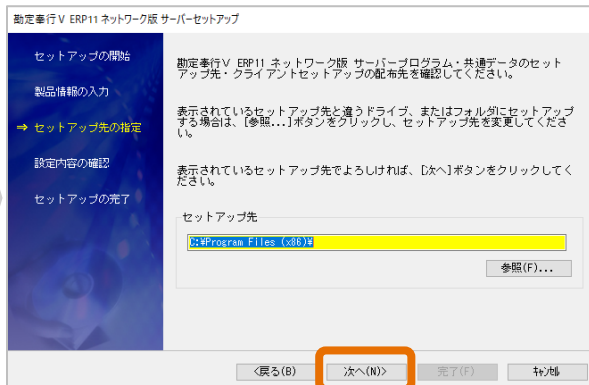
2023年 06月 13日

.....

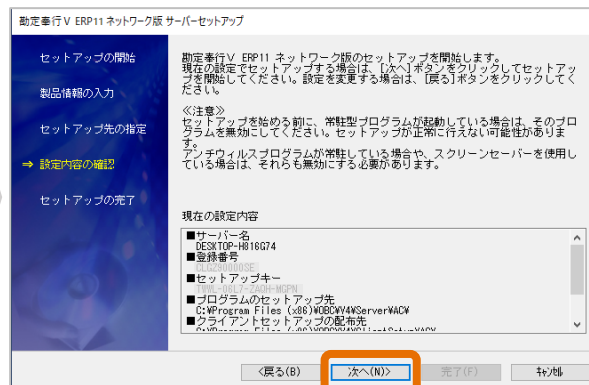
勘定奉行 i 11 SP システム セットアップキー発行のご案内

.....

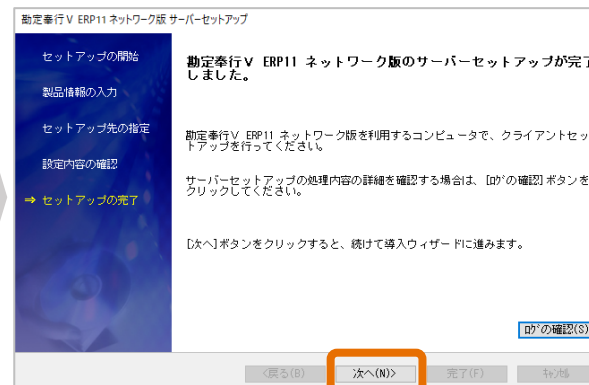
2. サーバーにプログラムをセットアップする



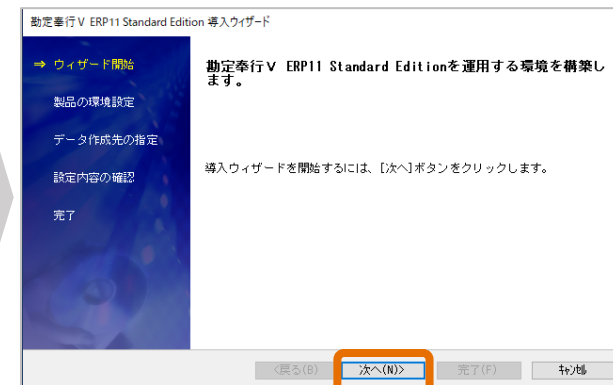
⑦ プログラムのセットアップ先の指定がなければ、そのまま[次へ]



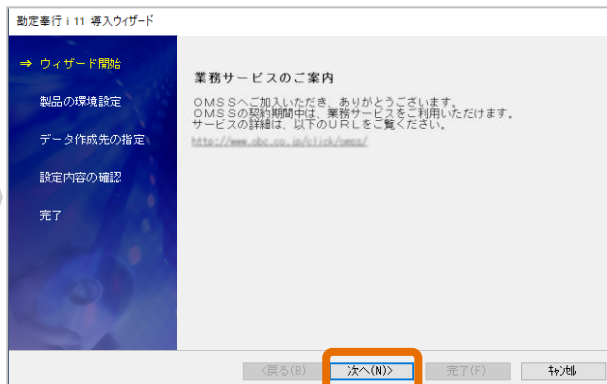
⑧ [次へ]



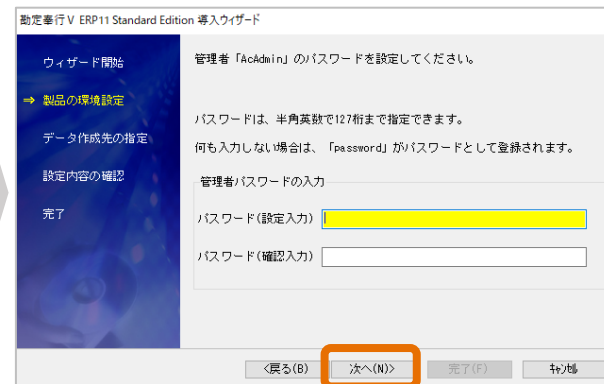
⑨ [次へ]



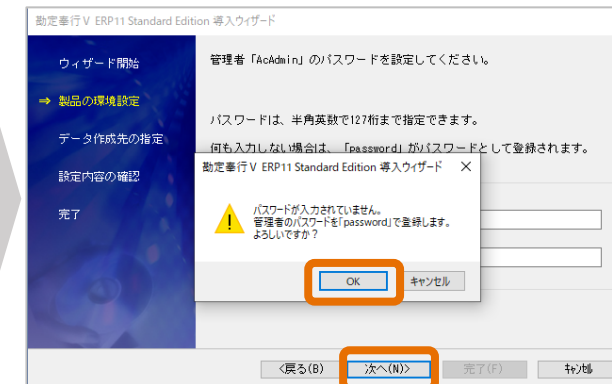
⑩ [次へ]



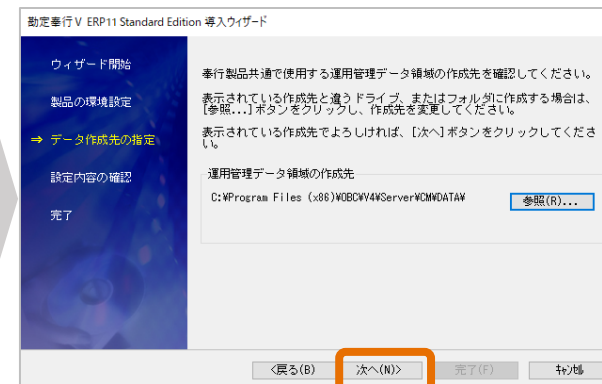
⑪ [次へ]



⑫ 管理者アカウントのパスワードに特に指定がなければそのまま[次へ]



⑬ [OK]

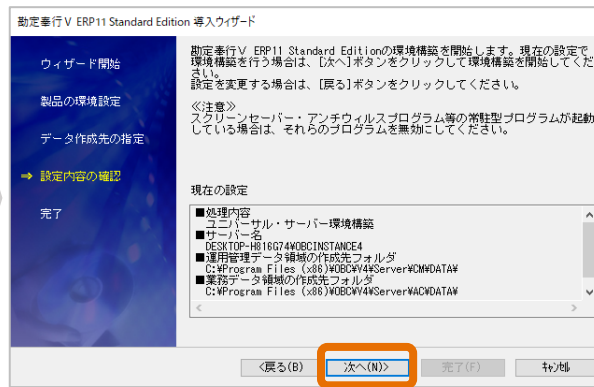


⑭ [次へ]

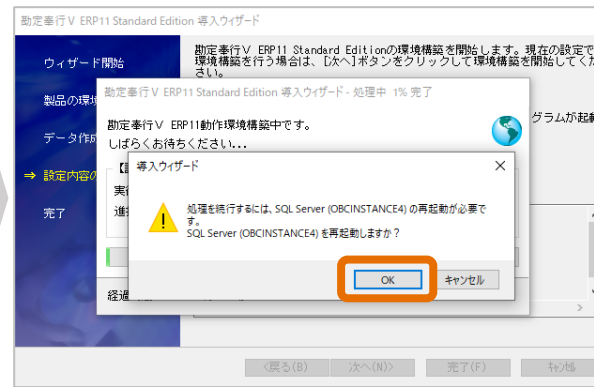
2. サーバーにプログラムをセットアップする



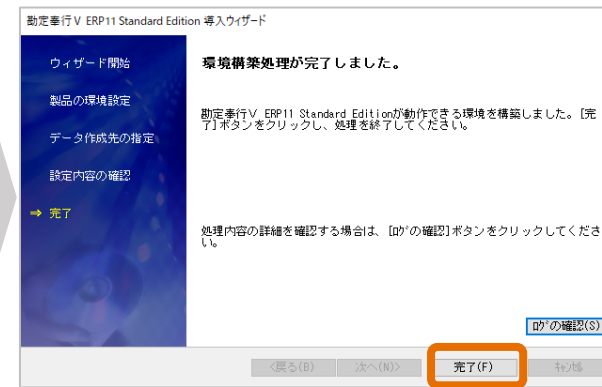
⑮ [次へ]



⑯ [次へ]



⑰ [OK]



⑱ [完了]

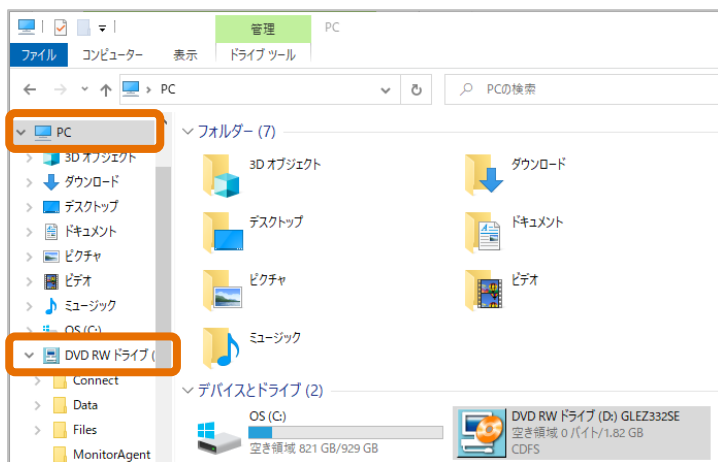
ここまで作業が完了したら



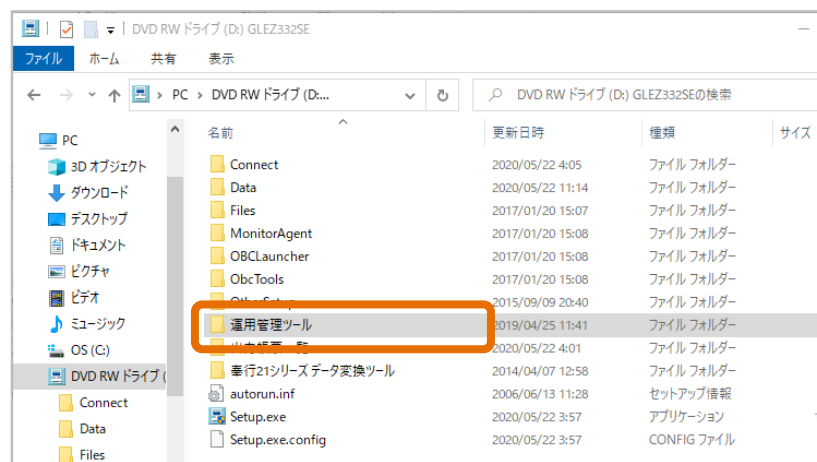
作業完了!

2. 運用管理ツールをサーバーにセットアップする

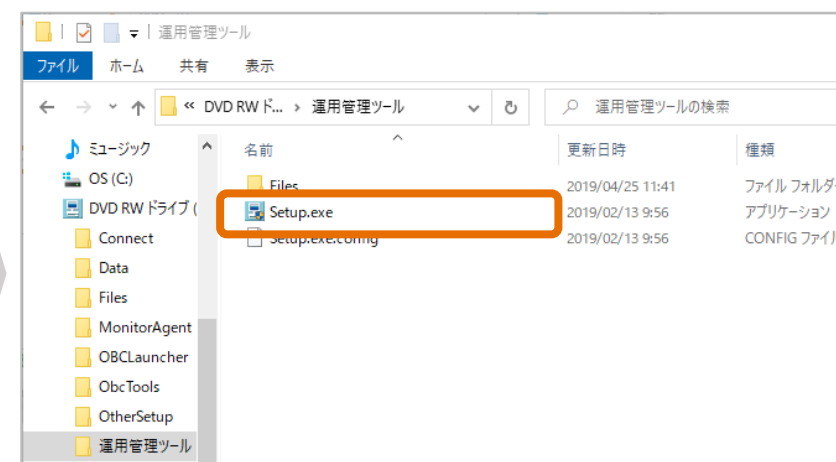
ここからは奉行10シリーズのセットアップされているサーバーで行う作業です。



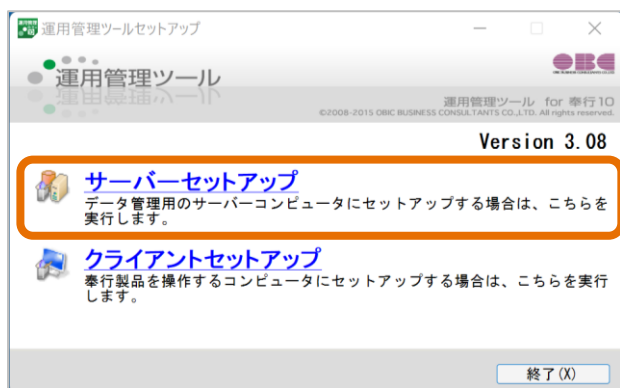
① 奉行10シリーズのディスクを挿入し、DVDドライブを開きます



② 「運用管理ツール」を開きます



③ Setup をクリックします



④ 「サーバーセットアップ」



⑤ 「カスタムアップ」



⑥ [次へ]

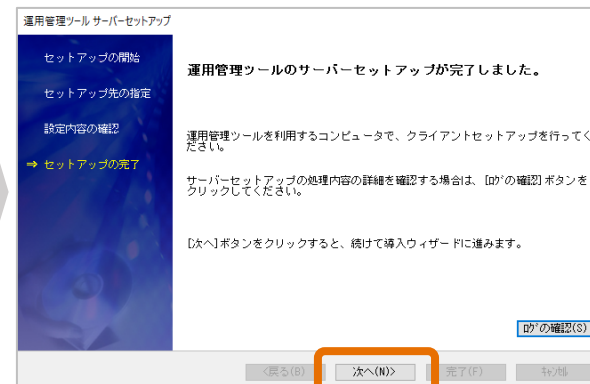
2. 運用管理ツールをサーバーにセットアップする



⑦ プログラムのセットアップ先の指定がなければ、そのまま[次へ]



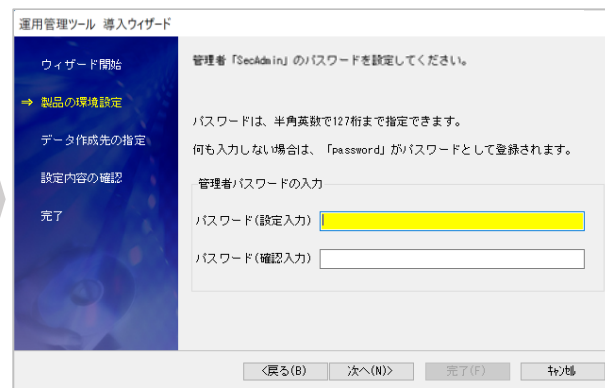
⑧ [次へ]



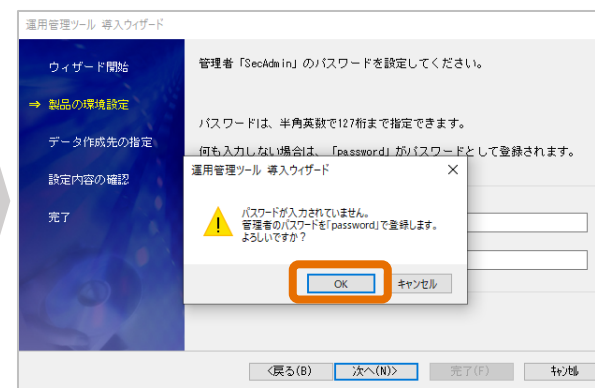
⑨ [次へ]



⑩ [次へ]



⑪ 管理者アカウントのパスワードに特に指定がなければそのまま[次へ]



⑫ [OK]

2. 運用管理ツールをサーバーにセットアップする



⑬ [次へ]



⑭ [完了]

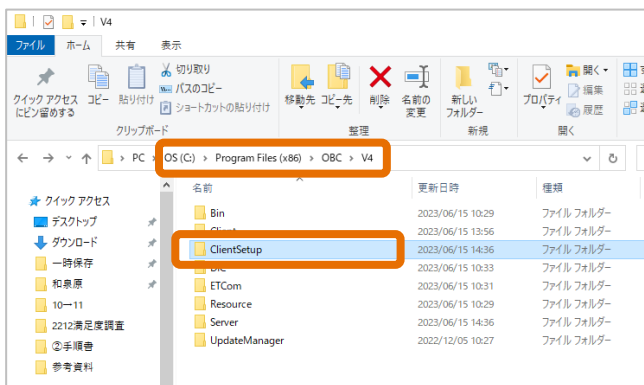
ここまで作業が完了したら



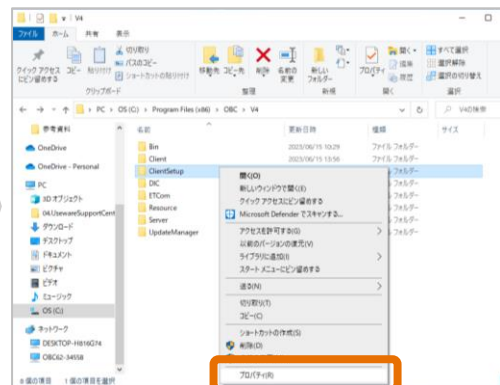
作業完了!

3. クライアントプログラムをセットアップする

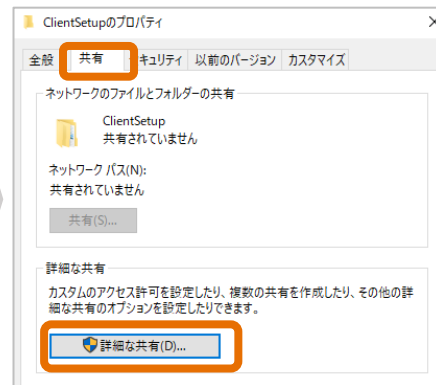
奉行11シリーズのセットアップされているサーバーで行う作業です。



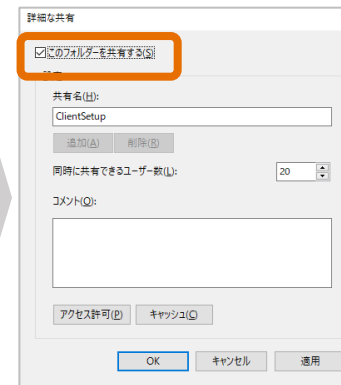
① サーバーで「ClientSetup」フォルダを探します



② 「ClientSetup」フォルダを右クリックして「プロパティ」を開きます



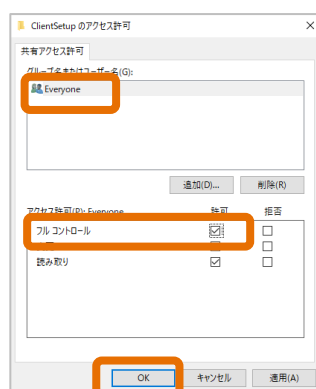
③ <共有>タブの「詳細な共有」を開きます



④ 「このフォルダを共有する」に☑を入れます



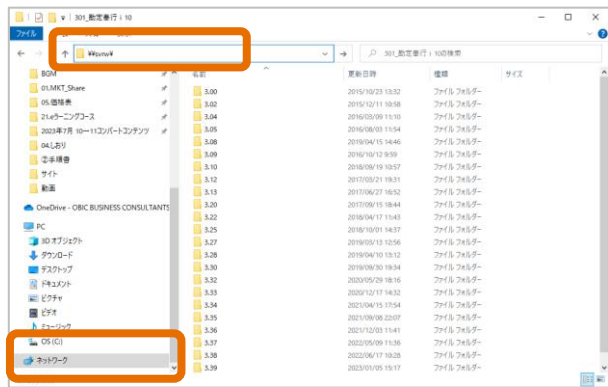
⑤ [アクセス許可]を選択します



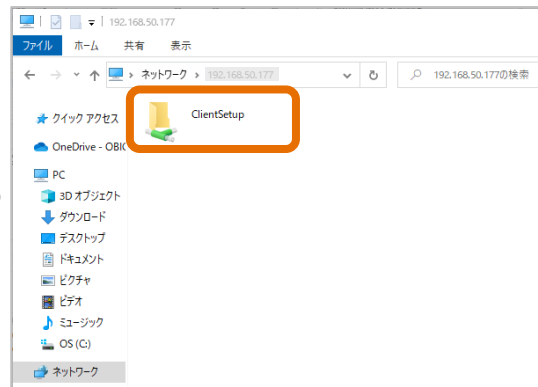
⑥ 「Everyone」をフルコントロールに設定します

3. クライアントプログラムをセットアップする

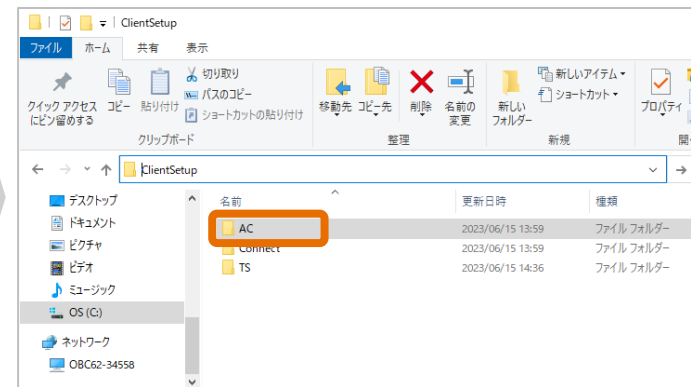
ここからは現場担当者の使用するクライアントパソコンで行う作業です。



⑦ クライアントPCでサーバーを検索します



⑧ 「ClientSetup」フォルダを開きます

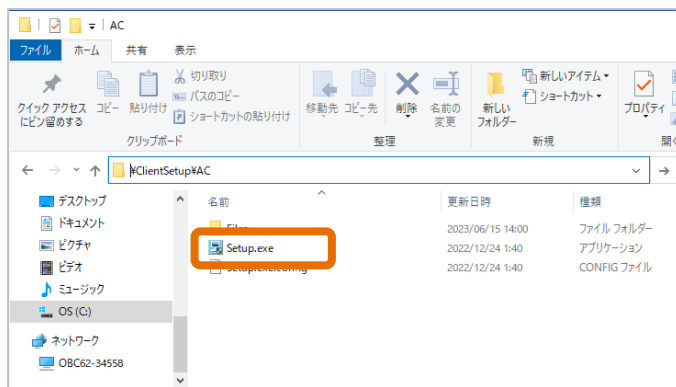


⑨ 製品フォルダを開きます

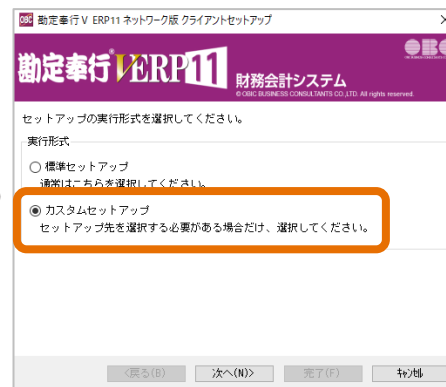
製品ごとにフォルダ名が異なります。

▼フォルダ名一覧

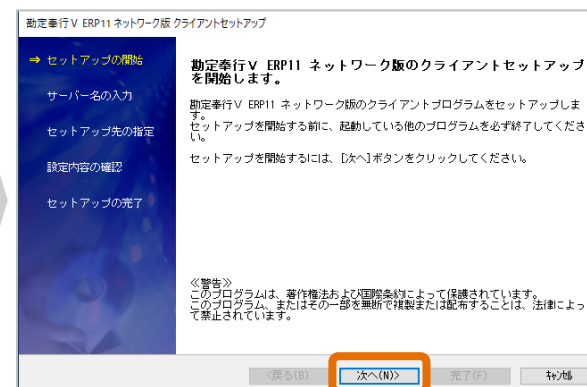
製品名	共有フォルダ名
勘定奉行	AC
勘定奉行【個別原価管理編】	RC
勘定奉行【建設業編】	CN
固定資産奉行	FA
申告奉行【法人税・地方税編】	CT
申告奉行【内訳書・概況書編】	AD
商奉行	SA
蔵奉行	ST
人事奉行	HR
給与奉行	PR
就業奉行	TL
法定調書奉行	LR



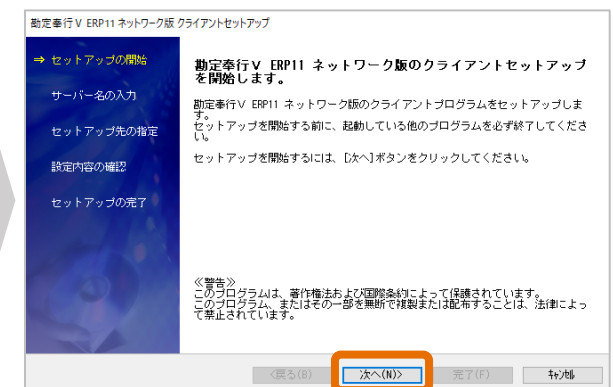
⑩ 「Setup.exe」をクリック



⑪ 「カスタムセットアップ」

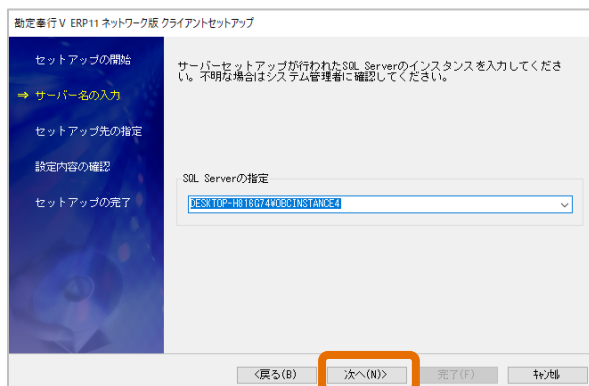


⑫ [次へ]

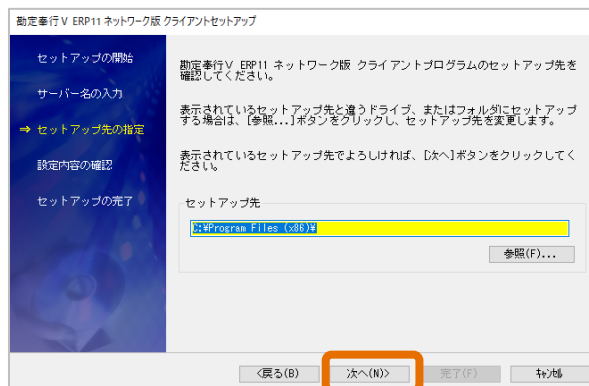


⑬ [次へ]

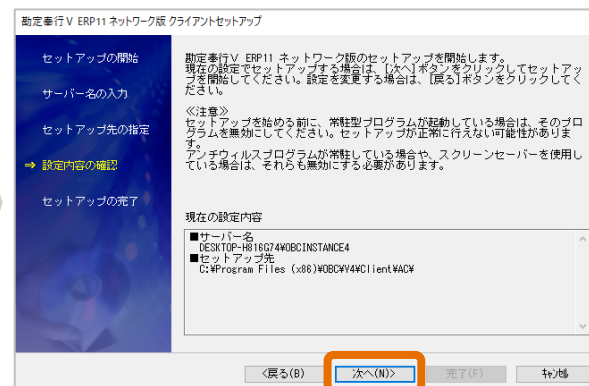
3. クライアントプログラムをセットアップする



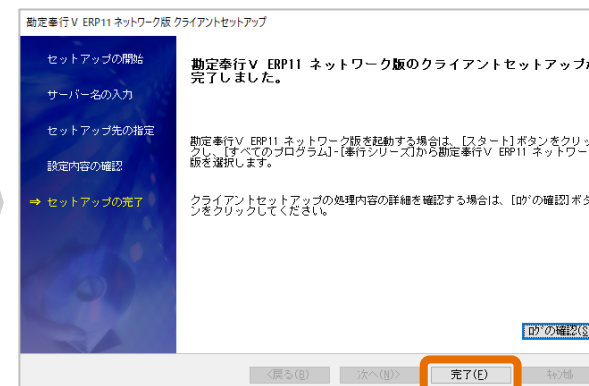
⑭ [次へ]



⑮ プログラムのセットアップ先の指定がなければ、そのまま[次へ]



⑯ [次へ]



⑰ [完了]

ここまで作業が完了したら



作業完了!

データ移行編

STEP
4

移行するデータを用意する

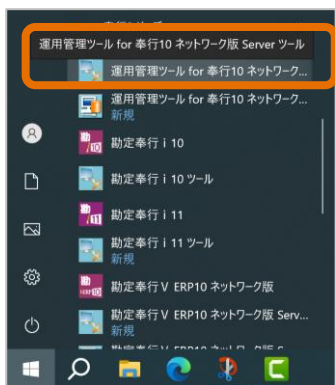
STEP
5

システムコンバート

STEP
6

再設定をする

4. 移行するデータを用意する



① サーバーで[スタート]-[奉行シリーズ]の中にある『運用管理ツール』の「Serverツール」を開きます



② [システムバックアップ]

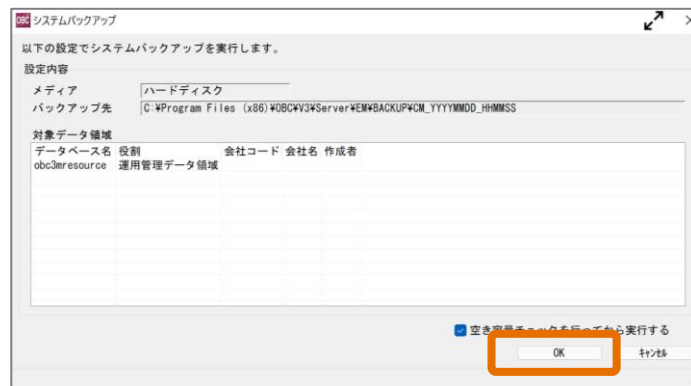


③ 利用者アカウントは「Secadmin」、パスワードはセットアップ時に設定したパスワードでログインします

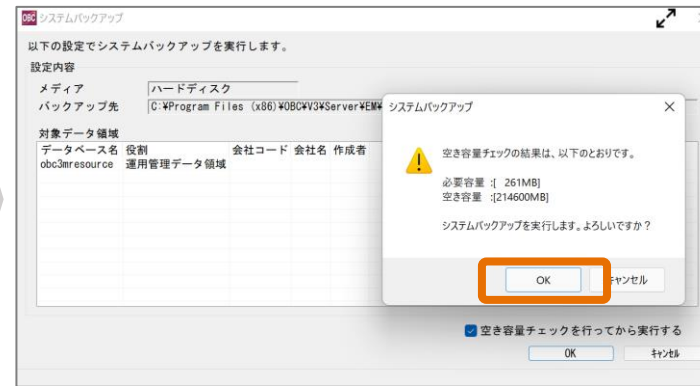
パスワードは、セットアップ時に特に設定をしていなければ「password」となります。



④ 「DB依存モード」「ハードディスク」「バックアップ先」を指定して[OK]



⑤ [OK]



⑥ [OK]

指定した「バックアップ先フォルダ」は覚えておきましょう！

4. 移行するデータを用意する



⑤ [閉じる]

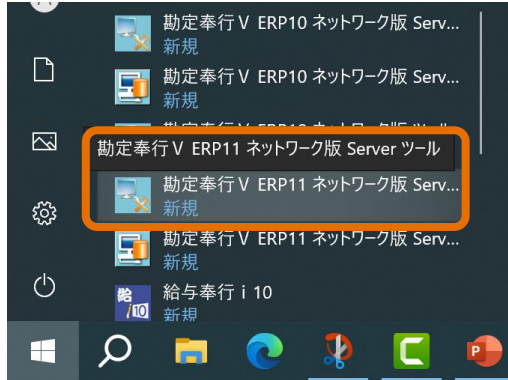
※Backup奉行をお持ちの場合は
Backup奉行でシステムバックアップを行います。

ここまで作業が完了したら



作業完了!

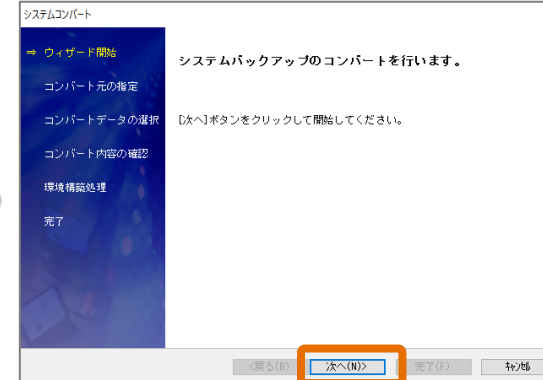
5. システムコンバート



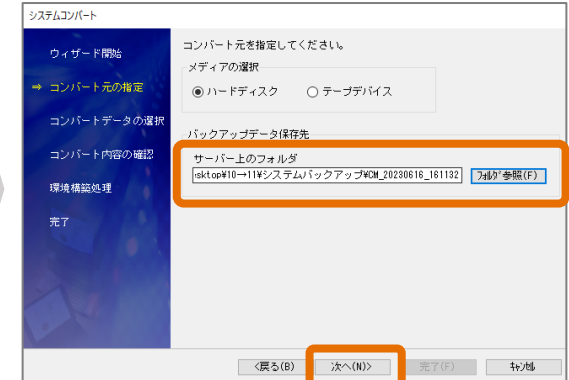
① サーバーで[スタート]-[奉行シリーズ]の中にある製品の「Serverツール」を開きます



② [システムコンバート]

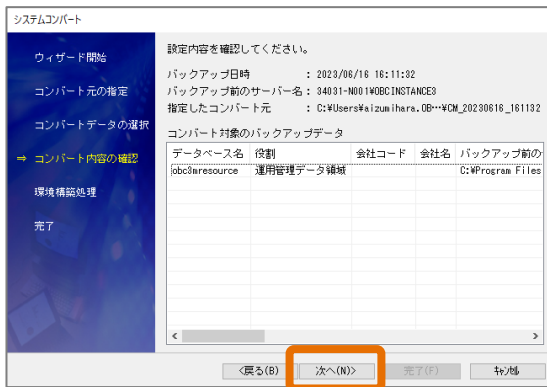


③ 「次へ」

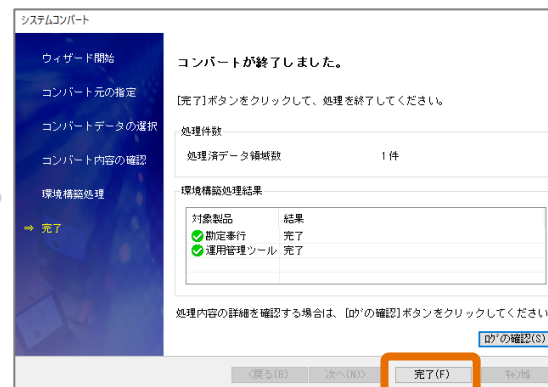


④ [フォルダ参照]からバックアップファイルを選択して[次へ]

起動する製品は何の製品でも大丈夫です。
今回は『勘定奉行』を起動します。



⑤ [次へ]



⑥ [完了]

ここまで作業が完了したら



作業完了!

STEP 6. 再設定をする

I. オンプレ製品のみお持ちの方 (以下いずれかの製品をお持ちの場合)



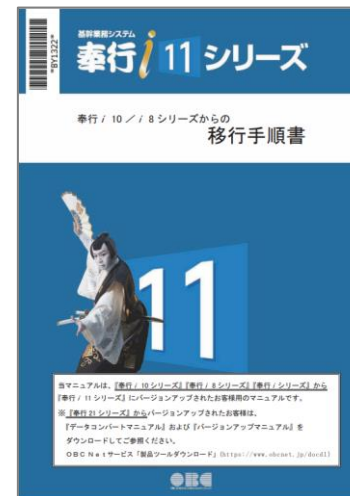
サイトからダウンロードいただきました
『再設定項目リスト』を元に再設定をします。

【全製品共通】再設定項目			
確認	再設定箇所	対象メニュー	実施内容
□	印刷設定	・各メニュー-[F2:印刷等]ボタン ・[導入処理]-[運用設定]-[帳票別プリント登録]メニュー	設定は移行されません。 紙で印刷していたものは全て今まで通り印刷ができるか必ず確認をしましょう。
□	バックアップ	・[データ領域管理]-[バックアップ/復元] -[一部バックアップ]メニュー ・[随時処理]-[バックアップ]メニュー ・製品終了時に表示されるメッセージからバックアップ	バックアップ先の設定は移行されません。 今までバックアップをとっていた場所にバックアップが引き続きとれるかどうか確認をしましょう。
□	利用者	・[管理ツール]-[認証方法設定]メニュー ・[セキュリティ管理]-[利用者登録]メニュー ※『運用管理ツール』を導入されている場合、[利用者登録]は『運用管理ツール』側で行うため、[認証方法設定]メニューは、表示されません。	複数人で利用されている場合、アカウントは移行されません。 以下手順でアカウントの作成が必要です。 ①[管理ツール]-[認証方法設定]メニューで「利用者ごとに認証を使用し、セキュリティを高める。」にチェックを付けます ②[OK]ボタンを押します ③管理者アカウントのパスワードは希望がなければ空欄にして[OK]ボタンを押します ※パスワード欄を空欄で進むとパスワードは「password」で設定されます。 ※管理者アカウントは認証ごとに設定されます。画面に表示された「利用者アカウント」は後ほど使用しますので、忘れぬようにミスをとっておきましょう！ ④[OK]ボタン-[OK]ボタン-[OK]ボタンで進みます ⑤製品を再起動して、再度製品を起動します ⑥ログイン画面から設定した「利用者アカウント」と「パスワード」を入力し[OK]ボタンを押します ⑦[セキュリティ管理]-[利用者登録]メニューを開き、他のユーザーのアカウントを作成します
□	利用者別設定	・[管理ツール]-[利用者別設定]メニュー	各メニューの設定は移行されません。 メニューの配置やフォントサイズ等、再設定が必要です。 ※利用者アカウントごとに設定が必要です。

II. オンプレ製品 + 奉行Edge製品をお持ちの方 (I. の製品に加えて以下いずれかの製品をお持ちの場合)



『再設定項目リスト』に加えて、
「奉行 i 10 / i 8 シリーズからの移行手順書 (※)」 P.25以降の手順が必要です。

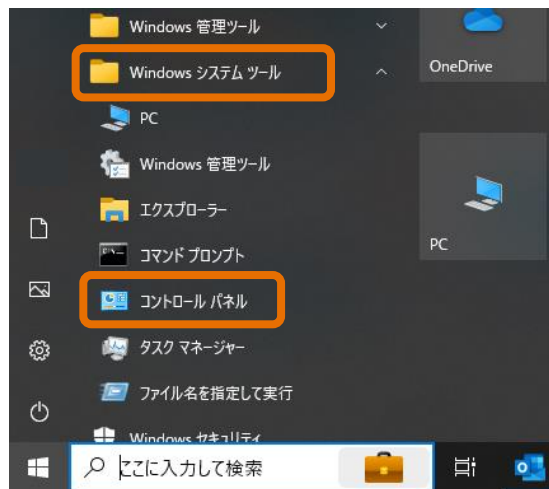


プログラムの削除

※ 注意 ※

- (1) 奉行10シリーズの削除は必須ではありません。
削除するのは奉行11シリーズで問題なく作業ができることを確認してからにしましょう。
- (2) 削除方法を間違えると、奉行製品やその他プログラムが起動しなくなる可能性があります。
削除手順は十分注意してください

番外編. プログラムの削除方法 (奉行10シリーズ)



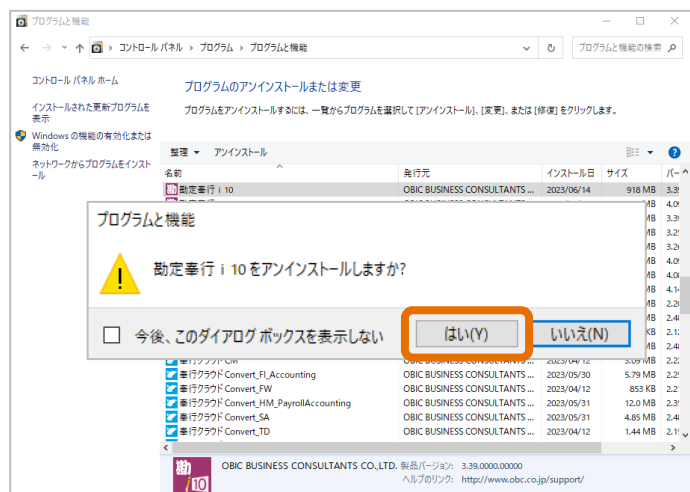
① [スタート]-[Windowsシステムツール]-[コントロールパネル]



② 「プログラムのアンインストール」



③ 削除したい製品を右クリックし「アンインストール」



④ [はい]

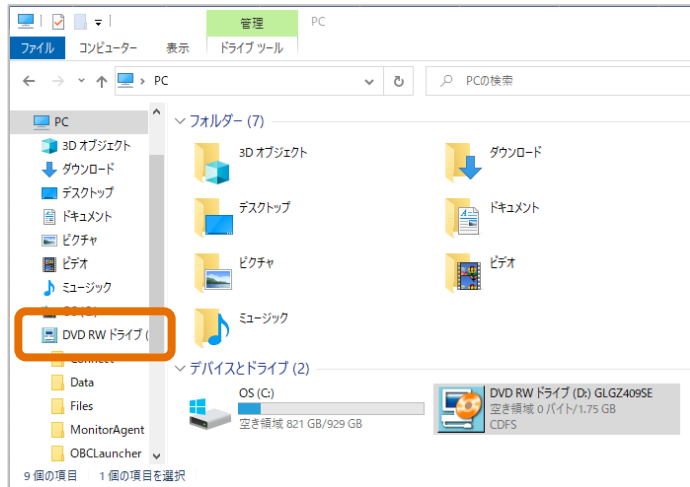


⑤ 「プログラムと一緒に、当システムの製品情報も削除する」を選択し[OK]

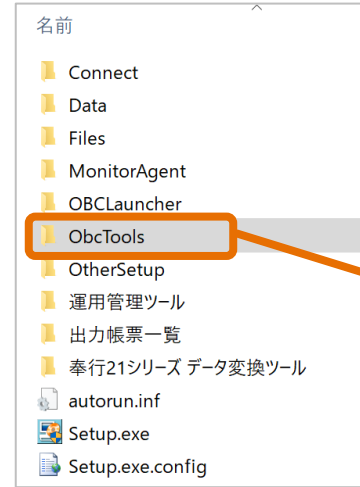


⑥ 「奉行10」と記載されたものは同様に、右クリックし「アンインストール」

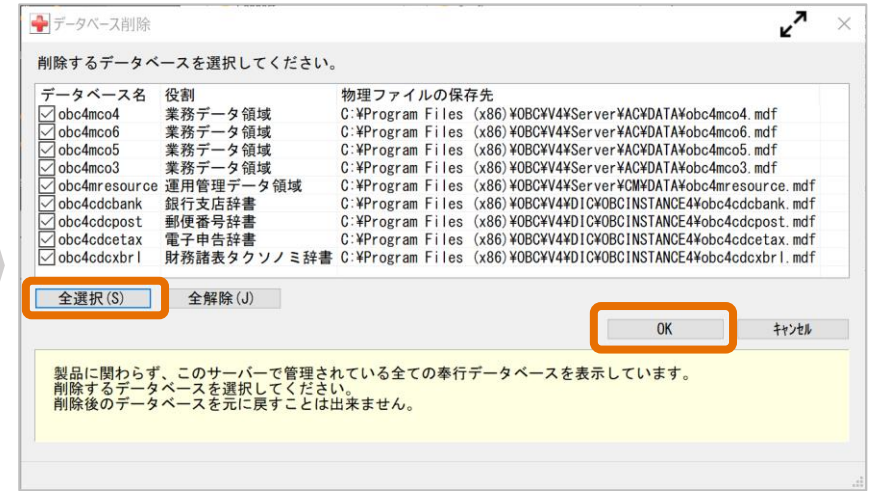
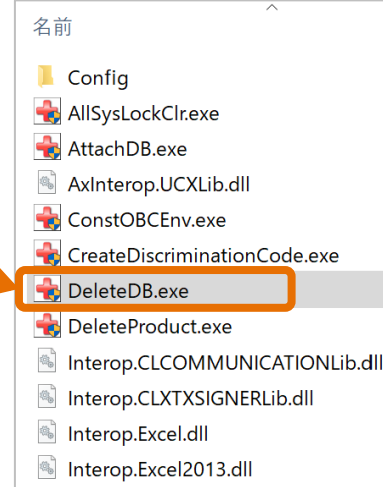
番外編. プログラムの削除方法 (奉行10シリーズ)



① 奉行10シリーズのディスクをDVD RWドライブを開きます

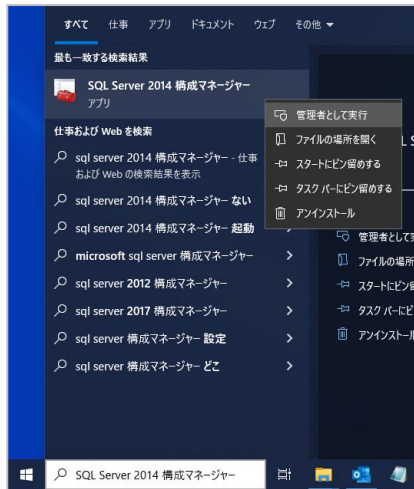


② [Obc Tools]の中の[DeleteDB.exe]をダブルクリック



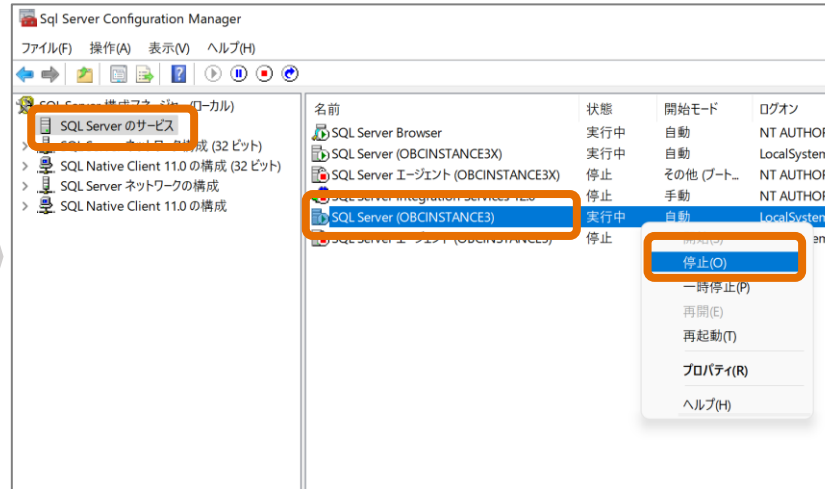
③ [全選択]を押して[OK]でデータを削除します

番外編. プログラムの削除方法 (SQL Server)

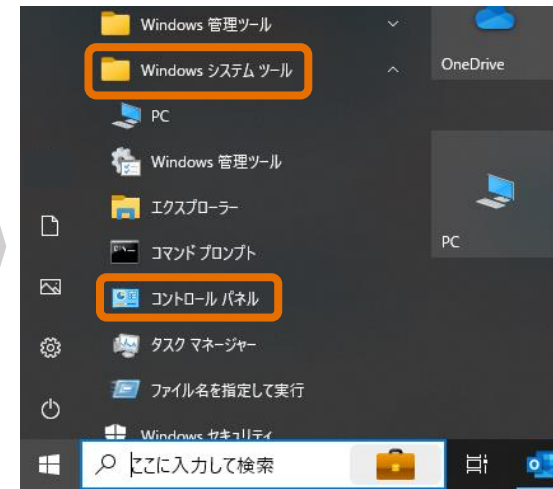


「SQL Server 2014構成マネージャー」が表示されない場合は、Windowsの管理者アカウントでPCにログオンしなおしてください。

① 「SQL 2014構成マネージャー」を検索し、右クリックし後 [管理者として実行]



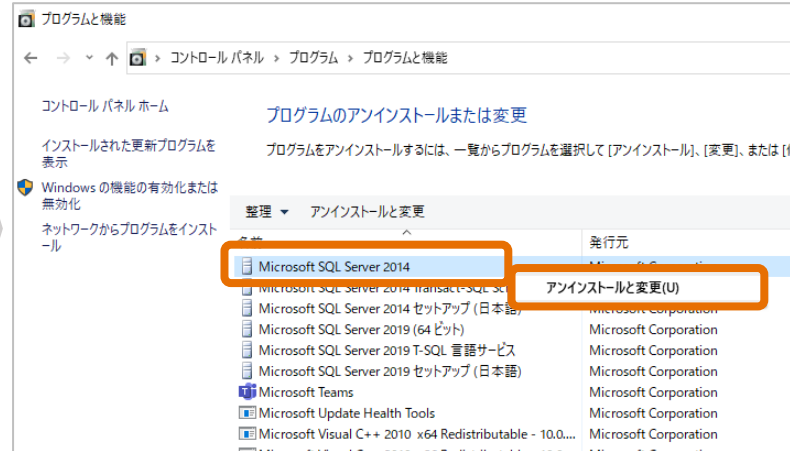
② 「SQL Serverのサービス」をクリックし、右側に表示される「SQL Server(OBCINSTANCE3)」を右クリックして[停止(O)]



③ [スタート]-[Windowsシステムツール]-[コントロールパネル]



④ 「プログラムのアンインストール」

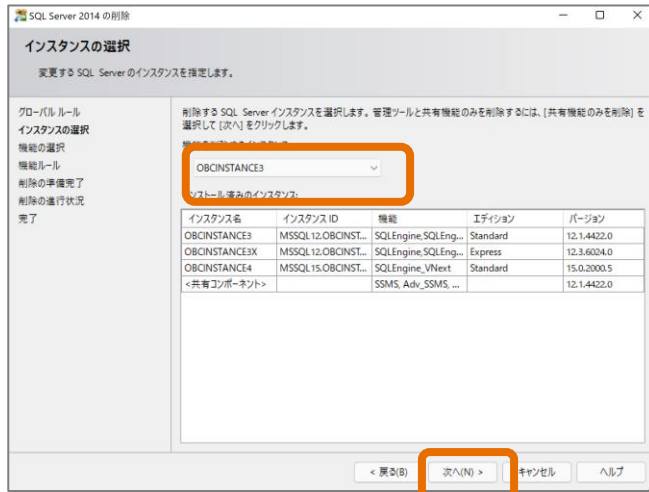


⑤ 「Microsoft SQL Server 2014」を右クリックし [アンインストールと変更(U)]

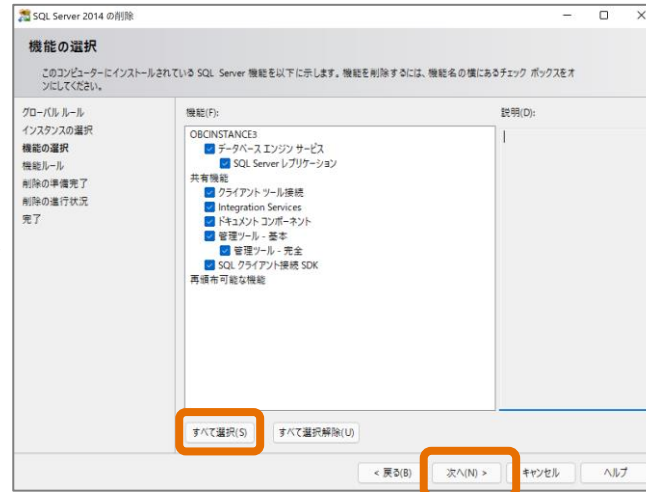


⑥ [削除]

番外編. プログラムの削除方法 (SQL Server)



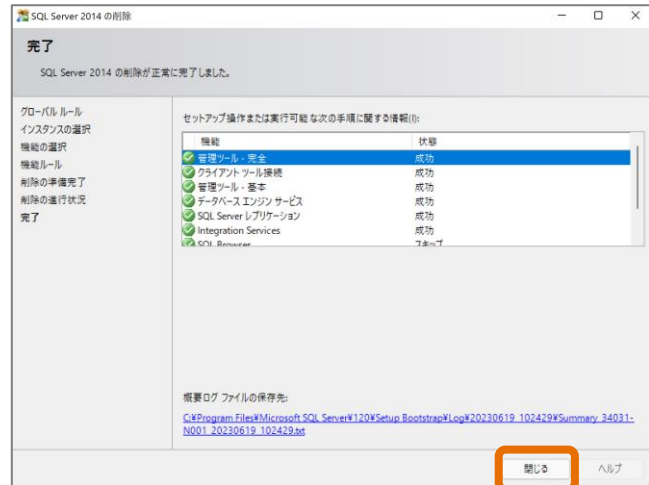
⑦ 「OBCINSTANCE3」が選択されていることを確認して[次へ]



⑧ [すべて選択]を押して[次へ]



⑨ [削除]



⑩ [閉じる]